

## のと共栄信用金庫の環境への取組みについて

### 「自然豊かなふるさとを次代の子どもたちに残すために」

当金庫は、CSR（企業の社会的責任）を重視する金庫経営を目指し、特に社会的な問題となっている「人口減少」と「環境問題」を地域における重要課題として捉え、取り組んでおります。

豊かな自然に恵まれた能登をはじめ“いしかわ”のかけがえのない環境を保全し、次代を担う子どもたちに自然豊かなふるさとを引き継いでいくことは、企業市民としての責務であるとの考えから、事業活動に伴う環境負荷の低減をはじめ、金融機能を通じて企業や個人の環境保全活動の支援等、地域と一体となった環境配慮型経営に取り組み、地域経済の発展、豊かな地域社会づくりに貢献していきたいと考えております。

### 【森づくり活動】

森は自然の恵みをもたらす源であり、地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸収する機能をはじめ水源涵養機能等様々な公益的機能を持っていることから、当金庫では平成20年5月1日に石川県と「企業の森づくり」協定を締結し、鹿島郡中能登町の石動山県有林を借り受け、間伐、枝打ち、下刈りなどの人工林の整備を始めました。平成20年6月21日の第1回の森づくりからこれまで25回行いましたが、毎回職員、家族、地域住民など約200人を超える人たちがボランティアとして参加しています。



また、平成26年より、七尾市能登島町県有林において「のとし島の松林再生活動」を開始。自然豊かな能登の里山の原風景の再生を目指しています。

これまでの活動の結果、石川県が地球温暖化防止対策の一環として平成20年度に創設した「CO2吸収認証制度」で、整備した森林が1年間に吸収するCO2の量は、累計で255.8-CO2トンの認証を受けました。

### 【環境保全活動支援定期預金の取扱い】

当金庫では、これまで地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を『吸収』・『削減(排出抑制)』に取り組む定期預金など環境保全活動応援定期預金の取扱いを行ってきました。

特に、“能登の森づくり”定期預金、森づくりファンド『やまもり』は、CO<sub>2</sub>吸収型として、石動山県有林での森づくりに賛同いただけるお客様からお預けいただいた定期預金の募集総額に応じて(最大80万円)当金庫が「森づくりファンド」に拠出し、それを活動原資に森づくりを行うものです。

毎回募集額を大幅に上回る預入をいただき、森づくりに対する関心の高さを感じています。

### 【児童環境学習活動の実施】

当金庫では、平成21年度から七尾市と中能登町の小学校全校の6年生を対象に環境学習出前講座を始めました。次代を担う子ども達と環境保全の大切さを一緒に考え、ふるさとの自然を愛する心を育み、将来の地域社会の担い手となる人間性豊かな人材を育成することを目的に、4月28日に両市町の教育委員会と「環境学習講座等に関する協定」を締結しました。そして七尾市・中能登町の全校が学校周辺の環境調査・地球温暖化問題や家庭で出来る省エネルギー等について学習しその後各学校で活動のテーマを選定し環境学習に取り組んでいます。

### 【SDGs宣言】

2019年6月に「のとしん SDGs 宣言」を行いました。

1. 中小事業者の皆様の創業、成長、発展、承継を通じた地域経済の持続的発展  
お客様のより安心して豊かな生活を実現するための資産形成支援
  2. 豊かな自然環境と地域の魅力的な文化・遺産の保全保護及び発信
  3. パートナーシップ力の強化と協働の推進
- を重点項目として掲げ、環境・教育や産業など地域の持続可能性のために取り組んでいます。

2021年10月には「ななお SDGs コンソーシアム」を設立。七尾市や商工会議所、商工会、政府系金融機関、青年会議所などと連携し、幸せな地域未来を協働で創造していきます。